

三由株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年10月～2024年9月)



発行日：2024年12月15日

改定日：2025年7月24日

1. ごあいさつ

当社は、平成18年に設立し、皆様のおかげでもうすぐ19年を迎えます。
平成27年7月には自社流通センターを備えた本社営業所に新築移転し、今後も設立時からの目標でもあります、社会貢献（エコ活動）、地域貢献（地域密着）を掲げ、お客様第一に、安心と安全を提供できる様に社員の個々のスキルアップを目指します。

平成22年度より継続して、安全性優良事業所認定（Gマーク）を取得しておりますが、エコアクション21に取り組むことにより、さらに企業としての社会的地位の向上を目指します。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

当社は、貨物自動車運送事業活動において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって自主的・積極的に、環境への取組を推進します。
また、環境経営システムの継続的改善を図っていきます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油）。
3. 廃棄物排出量の削減及び廃棄物のリサイクルを推進します。
4. 水使用量の削減を推進します。
5. 環境に配慮したサービスを推進します。
6. 地域美化活動に積極的に参画します。
7. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2015年6月 1日

改定日：2020年6月 1日

代表取締役 濱本 勇

2. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
三由株式会社
代表取締役 濱本 勇
- (2) 所在地
本社営業所 〒656-0422
兵庫県南あわじ市榎列上幡多字龍神1340番地5
駐車場 〒656-0422
兵庫県南あわじ市榎列上幡多字龍神1340番地5他2筆
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先
責任者 代表取締役 濱本 勇
担当者 総務部 前野さとみ
- (4) 事業内容
運送業
- (5) 事業の規模（2023年10月～2024年9月実績）
売上金額 201百万円
輸送量 39,129 t
輸送距離 599,601 km

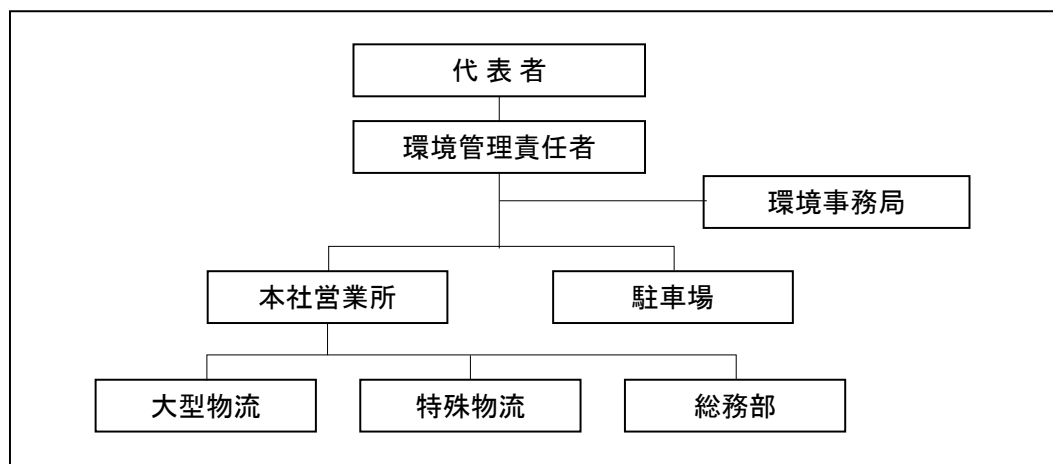
	本社	駐車場	合 計
従業員	24名	0名	24名
延べ床面積	255.66㎡	4,309.36㎡	4,565.02㎡

- (6) 事業年度 10月～翌年9月

□ 認証・登録の対象範囲

登録組織： 三由株式会社
対象事業： 本社営業所・駐車場
活 動： 一般貨物自動車運送業

□ 環境経営実施体制



役 割 ・ 責 任 ・ 権 限	
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・効果的で必要十分な実施体制の構築 ・環境管理責任者の任命及び各自の役割・責任・権限を定め全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付） ・環境経営目標、環境経営計画書の審議 ・環境活動の実施状況の評価、見直し ・環境教育の内容検討、実施結果の評価 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度		2022年度（基準年度）			2023年度		
		実績	売上高 対比 (a)	実績	売上高 対比 (b)	基準年度 対比 (a/b)	実績	売上高 対比 (b)	基準年度 対比 (a/b)
二酸化炭素 排出量	kg-CO ₂	427,136	2,394.8	414,796	2,230.9	100%	437,718	2,173.8	110%
電 力	kWh	17,695	99.2	17,413	93.7	100%	21,261	105.6	94%
ガソリン	L	1,737	9.7	1,733	9.3	100%	1,408	7.0	139%
軽 油	L	158,560	889.0	153,900	827.7	100%	162,299	806.0	110%
廃棄物排出量	kg	360	2.0	360	1.9	100%	480	2.4	85%
一般廃棄物	kg	360	2.0	360	1.9	100%	480	2.4	85%
産業廃棄物	t	0	0.0	0	0	-	0	0	-
水使用量	m ³	199	1.1	189	1.0	100%	190	0.9	118%
燃費（年間）	(万t・km)/L	14.8	0.08	16.7	0.09	100%	14.5	0.07	116%

注) 電力の二酸化炭素排出係数（調整後）は、関西電力(株)の2022年度実績の 0.434 kg-CO₂/kWhを使用

注) 化学物質は使用していない。

注) 売上高対比は実績÷売上高（百万円）

注) 燃費＝年間運搬量(t)×年間走行距離（万km）／軽油年間使用量（L）

4. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度 項 目		2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度
I. 二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	414,796	410,648	406,500	402,352
	対基準		△1%	△2%	△3%
電力 使用量削減	kWh	17,413	17,239	17,065	16,891
	kg-CO ₂	7,557	7,482	7,406	7,331
	対基準		△1%	△2%	△3%
ガソリン 使用量削減	L	1,733	1,716	1,698	1,681
	kg-CO ₂	4,021	3,980	3,940	3,900
	対基準		△1%	△2%	△3%
軽油 使用量削減	L	153,900	152,361	150,822	149,283
	kg-CO ₂	403,218	399,186	395,154	391,121
	対基準		△1%	△2%	△3%
II. 廃棄物排出量					
一般廃棄物 削減	kg	360	適正処理の継続		
産業廃棄物 削減	t	0.00	排出量0（ゼロ）の継続		
III. 水使用量削減	m ³	189	187	185	183
	対基準		△1%	△2%	△3%
IV. 運送車の 燃費向上	(万t・km)/L	16.7	16.9	17.0	17.2
	対基準		+1%	+2%	+3%
V. 地域美化活動	回/年	1	1	1	1
	対基準		±0.0%	±0.0%	±0.0%

注) 2022年度は、灯油96L (239kg-CO₂) を使用しています。

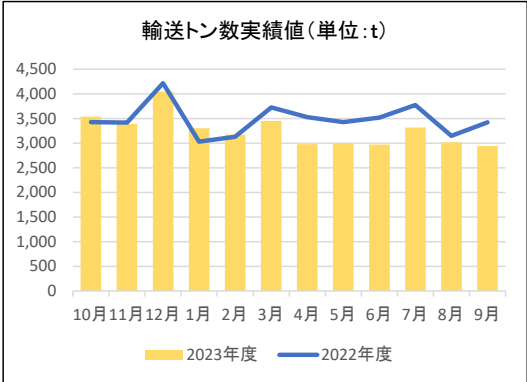
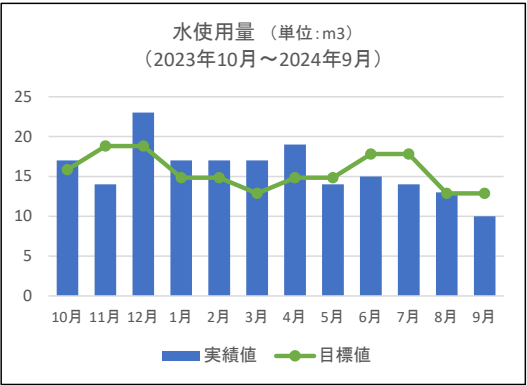
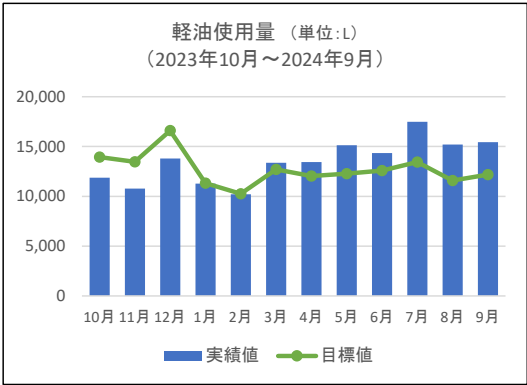
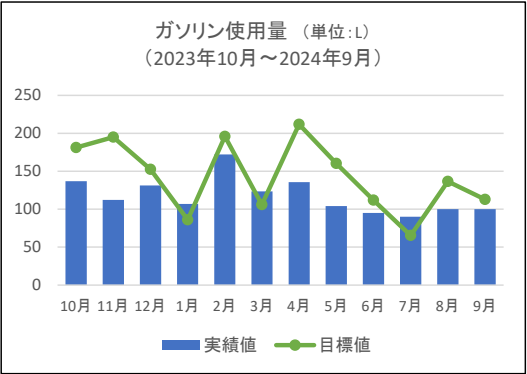
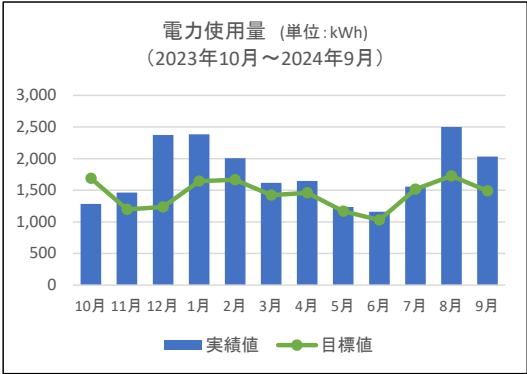
注) 化学物質を使用していないため、目標を設定していない。

注) 「IV. 運送車の燃費向上」は環境経営方針の「5. 環境に配慮したサービスを推進します。」に該当する。

(2) 対象期間（2023年度）の実績

年 度 項 目		基準	対象期間における実績			
		2022年度	2023年度（2023年10月～2024年9月）			
			目標 (a)	実績 (b)	達成度 (a/b)	評価
Ⅰ．二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	414,796	410,648	437,718	94%	×
	対基準		△1%	+6%		
電力使用量削減	kWh	17,413	17,239	21,261	81%	×
	kg-CO ₂	7,557	7,482	9,227		
	対基準		△1%	22.1%		
ガソリン使用量削減	L	1,733	1,716	1,408	122%	○
	kg-CO ₂	4,021	3,980	3,267		
	対基準		△1%	△19%		
軽油使用量削減	L	153,900	152,361	162,299	94%	×
	kg-CO ₂	403,218	399,186	425,223		
	対基準		△1%	+5%		
Ⅱ．廃棄物排出量						
一般廃棄物削減	kg	360	適正処理	適正処理 (480)	100%	○
産業廃棄物削減	t	0	0	0	100%	○
Ⅲ．水使用量削減	m ³	189.0	187	190.0	98%	△
	対基準		△1%	+1%		
Ⅳ．運送車の 燃費向上	(万t・km)/L	16.7	16.9	14.5	86%	×
	対基準		+1%	△13%		
Ⅴ．地域美化活動	回/年	1	1	1	100%	○
	対基準		±0.0%	±0.0%		

注) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）



5. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画（取組内容）
二酸化炭素排出量の削減 (目標未達成)		
・下記の通り。	○	電力使用量と軽油使用量が目標値を達成することができなかったため、二酸化炭素排出量全体も目標未達成となった。

電力使用量の削減 (目標未達成)		
・空調温度の適正化	○	達成度81%であった。今後も一層積極的な取り組みを実施する。
・不要照明の消灯	△	
・空調設備の空運転禁止	○	

■電力使用量が増加した原因として、真夏の猛暑や冬場のエアコン使用頻度の高さが考えられる

夏期 26℃、冬期 22℃の温度設定を徹底する

ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・移動コースの効率化	○	達成度122%であった。今後も引き続き個人が意識的に左記取り組みを実施する。
・アイドリングストップ	◎	
・空気圧、オイル等の点検	◎	

■ガソリン使用量の目標達成ができたのは、と考えられるので今後も取り組みを継続する

軽油使用量の削減 (目標未達成)		
・空ふかしの禁止	◎	達成度94%であった。4月から8月は実車キロ数は前年と同じくらいだったが、輸送トン数は減少したにもかかわらず、燃費の減少が見られた。こちらも酷暑の影響が及んでいると思われる。今後も左記取組を継続する
・アイドリングストップ	◎	
・空気圧、オイル等の点検	◎	

■軽油使用量が増加した原因として、燃費減少が考えられる。

一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・分別によるリサイクルの推進	○	常にリサイクルを心がけ分別している。今後も取り組みを実施する。
・ミスコピーの防止	○	

産業廃棄物の削減 (目標達成)		
・分別によるリサイクルの推進	—	今後の一層積極的な取り組みを行う
・素材ボックスの設置	—	
・保管場所の掲示板を設置	—	
・来年度以降の目標設定	—	

水使用量の削減 (目標やや未達成)		
・節水の周知徹底	◎	達成度98%であった。今後も一層積極的な取り組みを実施する。
・節水シールの貼り付けと	◎	
清掃時・手洗い時の節水	◎	

■水使用量は昨年比1㎡増なのでほぼ達成できた

運送車の燃費向上 (目標未達成)		
・エコドライブの推進	◎	達成度86%の実績であった。酷暑によるエアコンの使用が燃費減の一因とも考えられる。今後も左記取組を継続する
・アイドリングストップ	◎	

■輸送の安全第一に、アイドリングストップ、急発進急加速をしない等個人が心がけていきます。

地域美化活動 (目標達成)		
・事務所周辺の清掃	◎	従業員及び来客の皆様が気持ちよく仕事ができるよう、常に美化に努める。
・清掃活動の実施	◎	
(3海峡クリーンアップ)		

■3海峡（明石海峡・鳴門海峡・紀淡海峡）清掃活動は2024年度も積極的に取り組む予定です。

6. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	収集運搬・処分業者との適正な契約 マニフェスト伝票の管理 (A. B2. D. E) 廃棄物置場の表示と保管基準の遵守 一般廃棄物業者の許可の確認	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用の簡易点検・記録、廃棄後3年保存、漏えい防止等	遵守
自動車NOx・PM規制法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し	遵守
浄化槽法	保守点検及び清掃、記録保存、水質基準遵守他	遵守
消防法（危険物）	軽油貯蔵の技術上の基準遵守	遵守
水質汚濁防止法	貯油施設の事故時の処置、及び漏洩点検の実施	遵守
一般貨物運送事業法	輸送の安全を確保し、適正な貨物自動車運送事業を行う	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

前年度から引き続き、業務量の増加がみられる一年となりました。 猛暑のため24時間稼働の営業所の電気使用量が目標値以上となり、二酸化炭素排出量削減目標は94%の達成度に終わりましたが、ガソリン使用量の削減ができたこと、軽油使用量も売上増に関わらず5%増にとどまったことが大きいです。 当社はローカルバレットごと積載可能な車両、パワーゲート搭載の車両を11台導入しており、従業員の作業負担軽減及びお客様からのお喜びの声をいただきながら、宅配、引越し等の仕事を年々多く請け負わせていただいております。関係する皆様に感謝し、引き続き環境にも人にもやさしい業務体制の改善及び経営を目指して参ります。 地域の美化活動に関しては、自社の敷地内をはじめとし、鳴門の名物である渦潮の世界遺産登録を目指す取り組みのひとつである「3海峡クリーンアップの活動」に毎年参加しております。 当社は今後も、淡路島民に貢献し、淡路の発展に注力して参りたいと存じます。 2024/12/15 代表取締役 濱本 勇
--

項目	変更の必要性	変更内容
環境経営方針	無	－
環境経営目標	無	－
環境経営計画	無	－
実施体制	無	－

8. 活動紹介

「淡路島ブランドの確立」

淡路島の生産者と取引を直接できるマッチングサイトを立ち上げております。
サイト掲載、契約締結時、売上からのロイヤリティなど一切無料です。
淡路島ブランドの確立と地元活性化を目的として商工会議所ご協力のもと運営しております。
(参考)：淡路島の農家、酪農家、漁師などの生産者とマッチングできるサイト - [awa.ji-matching](https://awa.ji-matching.com/)

「こちどりの保護活動」

毎年、2月ごろに弊社社屋にこちどりが飛来してきます。
その後、産卵し雛が成長するまで、なるべく自然に近い状態を保ち従業員一同、こちどりを見守っています。
5月ごろになると3～4羽の雛と一緒にまた飛び立っていきます。

